



令和3年度



# 水稻の生育概況

vol.4

埼玉県マスコット  
「コバトン」

(令和3年9月2日現在)  
埼玉県農業技術研究センター

## 要 約

- ◎気象概況：8月の気温は平年並であったが、中旬に一時的な低温があった。降水量は第3半旬にまとまった降雨があったが、月平均では平年並となった。日照時間は平年並となった。
- ◎生育状況：早期栽培の中早生種の成熟期は平年並かやや遅い。早植栽培の晩生種の穂揃期は平年並かやや遅い。普通期栽培の中早生種の穂揃期は平年よりやや遅い。
- ◎今後取るべき技術対策
  - ・水 管 理：出穂30日後までは間断かん水を励行し、早期落水は絶対行わない。
  - ・病虫害防除：いもち病が広く発生しているので農薬の収穫前日数に注意して防除を行う。
  - ・適期収穫：品種ごとの登熟積算気温と帯緑色籾割合を参考に早めの収穫作業を心掛ける。倒伏した場合は穂発芽の危険性が高まるので、早刈りや刈分けで品質低下を防ぐ。

## 1 気象の概況

8月の気温は、第3、4半旬が平年に比べてかなり低くなった。特に15日は平均気温が19.9℃と20℃を下回った。その他の期間は平年より高く、月平均では0.3℃高かった。降水量は第3半旬にまとまった降雨があったが、その他の期間は平年並か少なかった。月合計では平年の102%となった。日照時間は第1、6半旬が平年より多く、第3～5半旬が平年より少なかった。月合計では平年の102%となった。

## 2 生育の概況

### (1) センター内生育相

ア 早期栽培（4月30日植 コシヒカリ）

出穂20日後調査では、平年に比べて稈長は短かった。穂数、風乾重は平年並だった。

イ 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

出穂20日後調査では、出穂期までの多照により、遅発茎の夭折が少なく、

穂数は多くなった。出穂期は8月上旬の高温により、平年より3日早かった。出穂期後約10日間低温寡照で推移しており、千粒重の低下が懸念される。

ウ 普通期栽培（6月25日植 彩のきずな）

草丈は移植後50日まで平年より低かったが、8月上旬までの高温・多照により伸長し、出穂期では平年並だった。茎数は出穂期では平年より多く、穂数も平年を上回る見込みである。出穂期はほぼ平年並だったが、8月中旬の低温寡照により出穂がばらつき、穂揃期は平年より5日遅くなった。

## （2）県内全般

早期栽培の水稻の生育は茎数が平年に比べやや少なく、成熟期は遅くなった。また、8月13日～15日の豪雨により一部で倒伏が認められた。

早植栽培の水稻の生育は草丈、葉数とも平年並であったが、茎数はやや多くなった。穂揃期は、地域によりばらつきが大きく、田植日が遅くなるほど穂揃期も遅くなる傾向となった。

普通期栽培の水稻の生育は、草丈が平年よりやや大きく、茎数もやや多くなった。出穂期は、8月12日～18日の低温の影響を受け平年に比べ遅くなった。

病害虫は県内で広くいもち病の発生が認められている。

## 3 今後の生育予測

### （1）気象予測

気象庁が9月2日に発表した向こう1か月の天候の見通しでは、気温は、ほぼ平年並で、週別の平均気温は1週目は平年並か低いが40%、2週目は並の確率は50%、3～4週目は高い確率は50%である。

降水量は、ほぼ平年並の確立が40%、日照時間は、少ない確率が40%の見込みである。

### （2）生育予測

ア 早期栽培

中早生種で収穫期最盛期を迎えているが、8月下旬から降雨が続いており、収穫作業の遅延が予想される。

また、それに伴う刈遅れによる品質低下が懸念される。

イ 早植栽培

8月中旬以降の気温に大きなばらつきがあるため、出穂時期により収穫適期が平年と異なることが予想される。

ウ 普通期栽培

向こう1か月の天候の見通しでは、気温は1週目は平年並か低く2週目は並と見込んでおり、登熟期間が延びることが予想される。また、いもち病の発生が広く認められており、穂いもちの発生が懸念される。

## 4 今後取るべき技術対策

### (1) 早期栽培

収穫の遅れているほ場では、天気予報等に注意し計画的な収穫を行う。また、高水分籾を急速に乾燥すると品質が低下するので注意する。

倒伏が発生した場合、成熟期に達しているほ場では速やかに刈取りを行い、登熟ムラのあるほ場ではできるかぎり刈分けを行い、品質低下を防ぐ。

### (2) 早植栽培

収穫作業が円滑にできるよう、ほ場や農業機械の準備を整えておき、週間天気予報等を参考に作業計画を立て作業を行う。

品種ごとの登熟積算気温を基に、帯緑籾割合を参考にして早めの収穫作業を心掛ける。刈り遅れは着色粒や胴割粒の発生により外観品質を低下させるので注意する。

また、収穫時の籾水分が高くばらつきが大きい場合には、通風のみで一晩程度籾水分をならしてから、火力乾燥を行う。

### (3) 普通期栽培

#### ア 病虫害防除

いもち病の進展具合を見ながら必要に応じて防除を実施する。

薬剤防除の際は、薬剤のラベルを必ず確認し、農薬使用基準の収穫前日数を越えないよう注意する。

#### イ 水管理

根の活力維持のため出穂後 30 日までは間断かん水を徹底し、早期落水は避ける。

#### ウ 適期収穫

品種ごとの登熟積算気温を基に、帯緑籾割合を参考にして早めの収穫作業を心掛ける。刈り遅れは着色粒や胴割粒の発生により外観品質を低下させるので注意する。

また、収穫時の籾水分が高くばらつきが大きい場合には、通風のみで一晩程度籾水分をならしてから、火力乾燥を行う。

解析・考察に用いた具体的数字

1 8月気象表（熊谷气象台日別測定値から集計）

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	29.8	27.7	36.0	33.1	25.2	23.8	9.5	20.3	51.0	30.2
2	29.2	27.8	34.5	33.1	25.4	23.8	19.0	21.6	33.5	29.8
3	23.5	27.5	26.0	32.7	21.0	23.6	135.0	27.2	10.9	27.6
4	24.8	27.0	29.0	32.1	21.7	23.3	14.0	32.8	20.0	26.2
5	27.6	26.6	31.9	31.6	24.7	22.9	6.0	36.8	15.1	25.4
6	29.4	26.2	34.4	31.1	25.5	22.5	3.0	42.2	42.5	29.4
平均	27.4	27.1	32.0	32.3	24.0	23.3	合計 186.5	183.3	173.0	169.3

注) 半旬数値は熊谷地方气象台日別測定値から集計。ただし、月平均、合計値は气象台測定値。  
平年値は1991～2020年の气象台測定値。

2 早期栽培（4月30日植 コシヒカリ）

(1) 出穂20日後調査

稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/株)			風乾重(g/100本)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
83.3	92.1	90	21.3	20.1	106	20.9	20.9	100	2121	2167	98

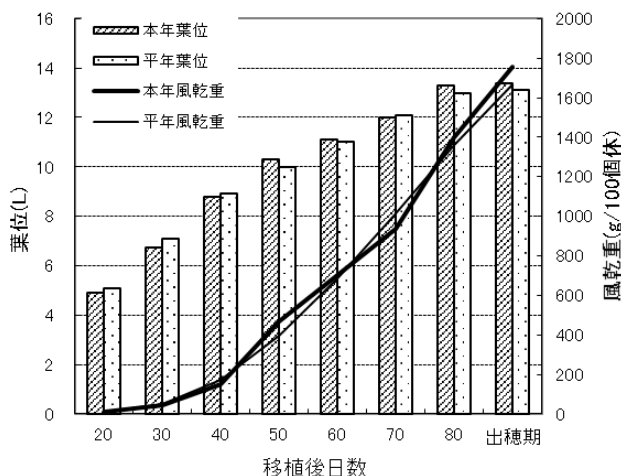
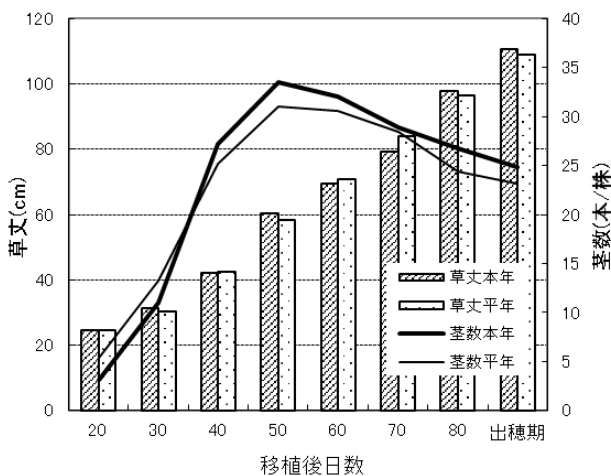
注) 平年値は平成11年～令和2年の平均(H22を除く)。 平年比は%

(2) 出穂、成熟

出穂始(月日)			出穂期(月日)			穂揃期(月日)			成熟期(月日)		
本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
7/19	7/21	-2	7/25	7/26	-1	7/28	7/29	-1	9/3		

注) 平年値は平成11年～令和2年の平均(H22を除く)。

(3) 生育経過



### 3 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

#### （1）本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
80	106.4	101.8	105	20.3	19.8	103	14.1	14.1	0.0	1876	1718	109
出穂期	107.7	110.5	98	18.9	19.4	97	14.1	14.2	-0.1	1918	1926	100

注) 平年値は平成12年～令和2年の平均。 平年比は%

#### （2）出穂 20 日後調査

稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/株)			風乾重(g/100本)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
74.1	79.5	93	20.6	21.0	98	19.2	17.8	108	2222	2293	97

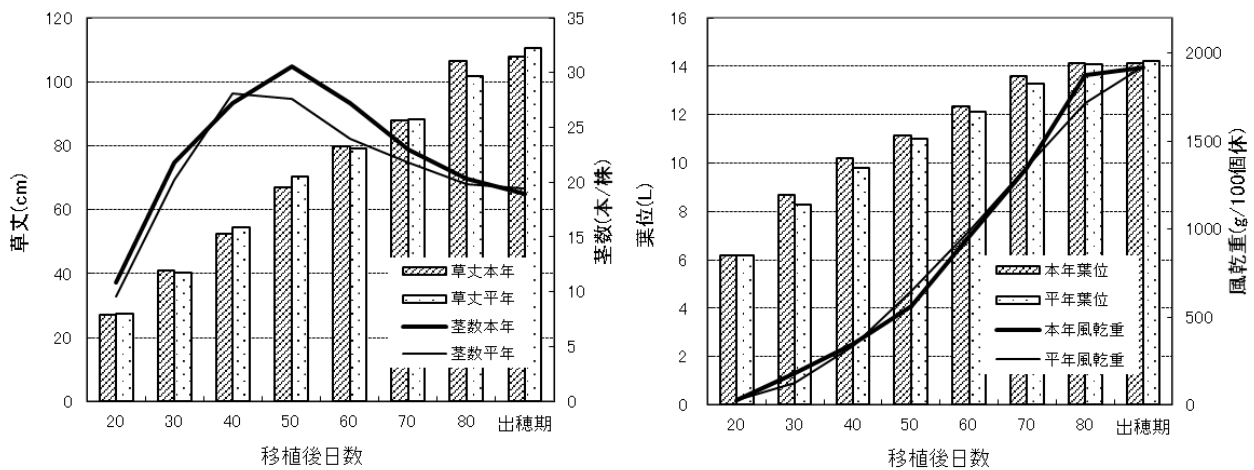
注) 平年値は平成11年～令和2年の平均。 平年比は%

#### （3）出穂、成熟

出穂始(月日)			出穂期(月日)			穂揃期(月日)			成熟期(月日)		
本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8/8	8/10	-2	8/10	8/13	-3	8/14	8/15	-1	9/27		

注) 平年値は平成12年～令和2年の平均。

#### （4）生育経過



### 4 普通期栽培（6月25日植 彩のきずな）

#### （1）本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
40	68.8	76.1	90	27.4	24.2	113	11.7	11.7	0.0	762	672	113
50	77.7	90.6	86	24.3	22.5	108	13.1	12.9	0.2	1025	1080	95
出穂期	89.7	93.6	96	23.9	21.6	111	13.0	12.8	0.2	1262	1204	105

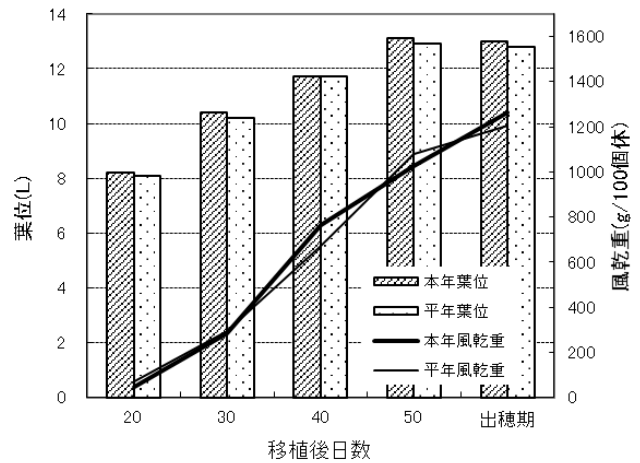
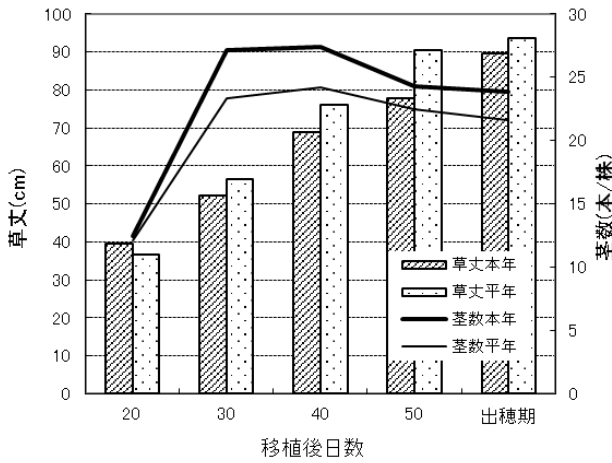
注) 平年値は平成27年～令和2年の平均。 平年比は%

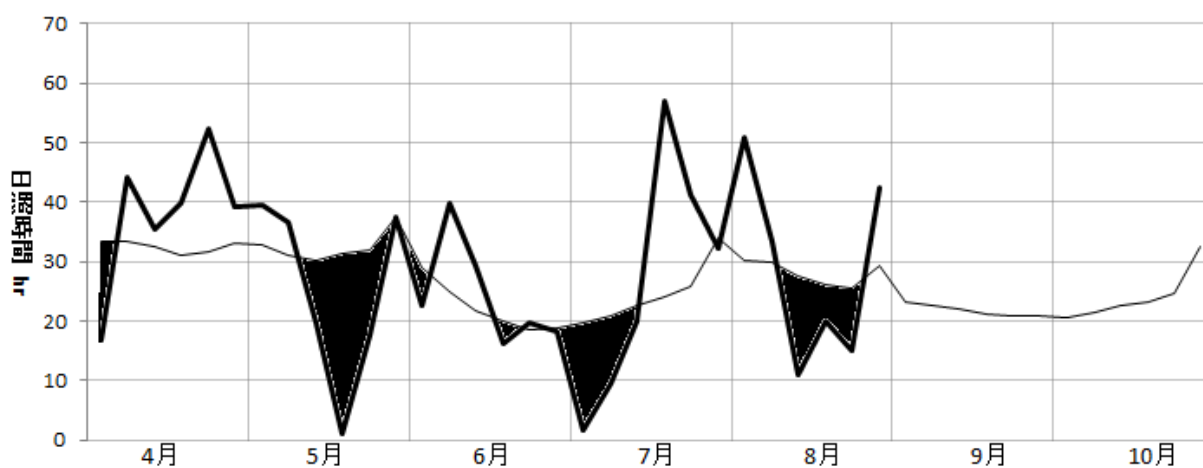
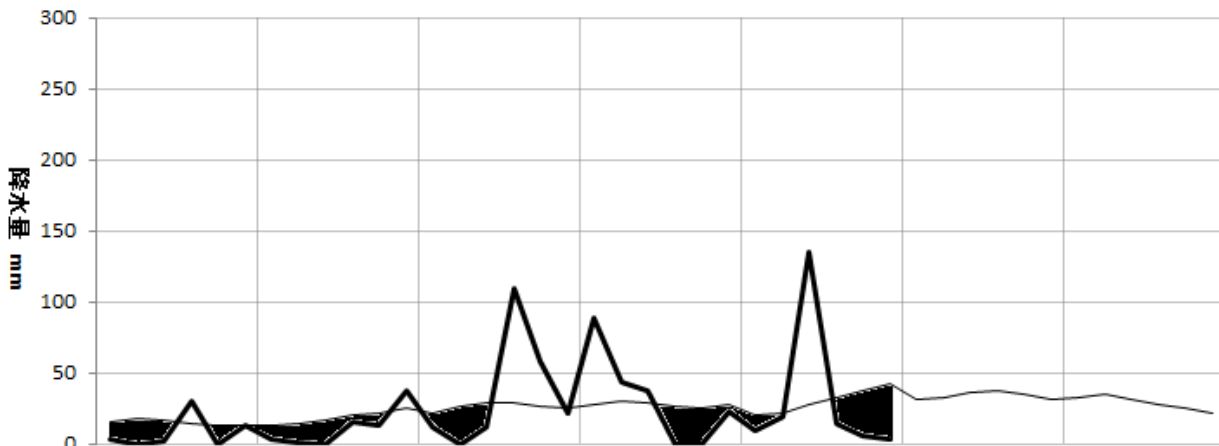
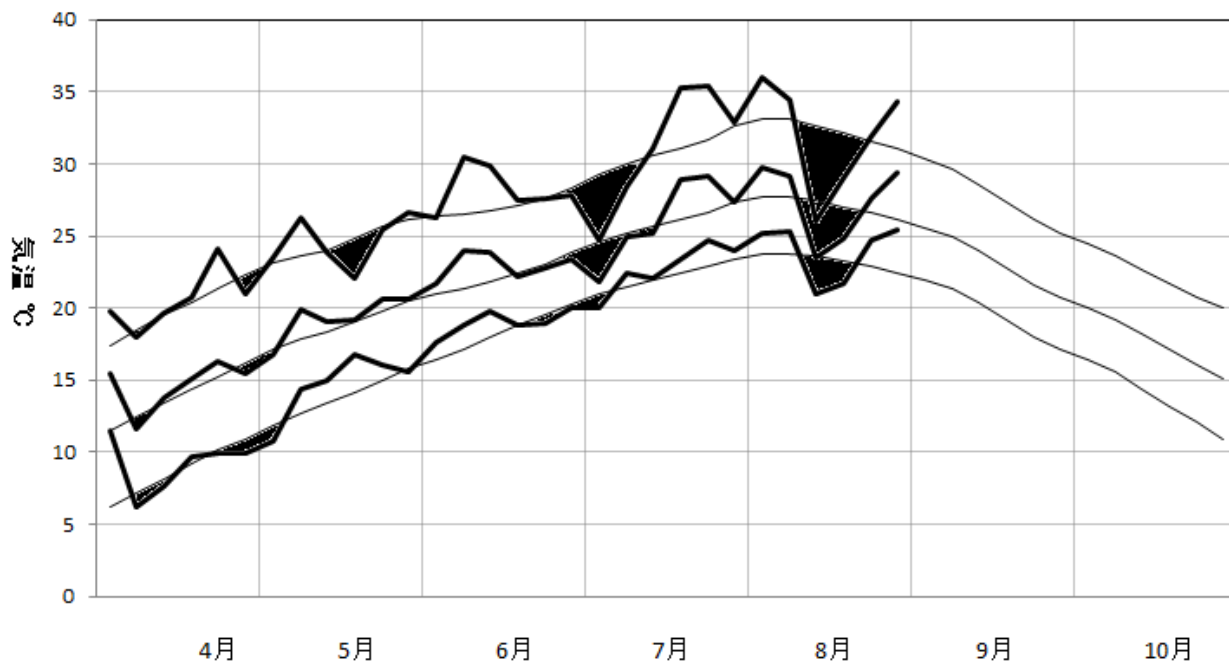
## (2) 出穂、成熟

出穂始(月日)			出穂期(月日)			穂揃期(月日)			成熟期(月日)		
本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8/15	8/14	1	8/19	8/18	1	8/24	8/19	5		9/30	

注) 平年値は平成27年～令和2年の平均。

## (3) 生育経過





令和3年夏作期間気象図  
 (熊谷气象台日別測定値から作成)